

**40年以上の歴史を持つ『第41回全国きき酒選手権大会』を3年ぶりに開催
個人の部・香川県代表として有村 和彦さんが初優勝
団体の部・熊本県が初優勝 大学対抗の部・千葉大学の男性ペアが優勝**



個人の部優勝の香川県有村さん



団体の部優勝の熊本県 小松さん・藤川さんのペア



大学対抗の部優勝/千葉大学 中沢さんと山田さんのペア



左よりおちよくん、団体の部優勝の熊本県のペア、
個人の部優勝有村さん、中央会・佐浦副会長、協賛のJA桑原課長さん

全国約1,700の酒類(日本酒、本格焼酎・泡盛、本みりん)メーカーが所属する日本酒業界最大の団体である日本酒造組合中央会(以下、中央会)では、40年以上の歴史を積んできたアマチュアのきき酒日本一を決める『第41回全国きき酒選手権大会』(以下、きき酒選手権大会)を10月21日(金)にリーガロイヤルホテル東京で開催しました。

きき酒選手権大会は、日本酒の魅力や文化を幅広く知ってもらうことを目的に、1981年より開催され、今年で41回目となる歴史のある大会。今年は32都道府県の代表選手、計66名が参加する「個人の部」と各都道府県の代表2名の合計点で競い合う「団体の部」が、それぞれアマチュアきき酒日本一の座をかけて競い合いました。「個人の部」優勝は香川県代表として初優勝となった有村和彦(ありむら かずひこ)さんが、見事アマチュアのきき酒日本一に輝きました。有村さんは「嬉しいです！ 今後も日本酒を飲み続けます」と満面の笑みを浮かべていました。一方「団体の部」は、小松 益美(こまつ ますみ)さんと藤川 美奈子(ふじかわ みなこ)さん女性ペアのお二人で、熊本県としては初の優勝となりました。小松さんは「熊本県にとっては初めての優勝なので感無量です！」と喜びを噛みしめていました。

また、「大学対抗の部」(8大学20名)では、千葉大学の中沢 紀(なかざわ おさむ)さんと山田 陽太(やまだ ようた)男性ペアが優勝しました。

<大会結果> ※敬称略

個人の部：優勝 有村 和彦(香川県) / 準優勝 工藤 美香子(東京都) / 第3位 藤川 美奈子(熊本県)

団体の部：優勝 熊本県 / 準優勝 山形県 / 第3位 香川県

大学対抗の部：優勝 千葉大学 / 準優勝 早稲田大学 / 第3位 佐賀大学

